縁（ゆかり）Ⅲ NO.11	R7.10.14（火）	文責　坂本英明
学校教育目標　【自ら考え、判断し行動する子どもの育成】 重点目標 ①挨拶・返事 ②掃除・委員会係 ③服装・名札 ④時間		

京都大学副学長で同大学高等研究院特別教授の北川進さんが、2025年10月8日にノーベル化学賞を受賞されました。北川さんは京都大学で開かれた記者会見にて、子どもたちに向けて心に残るメッセージを語られました。私はその会見を視聴したとき、「努力は無にならない」と勇気をもらいました。そのメッセージの一部を紹介します。

「幸運は準備された心に宿る」

北川さんは、海外の細菌学者の言葉を引用し、「幸運は準備された心に宿る」と述べました。これは、ただ運を待つのではなく、日々の努力や好奇心、挑戦する姿勢が未来の幸運を引き寄せるという意味です。

経験を大切にすることの重要性

また、「育っていく課程で、いろいろな経験をするけど、それを大切にすることで将来の花が開くといいたい」と語り、子どもたちが日々の出来事や困難を乗り越えながら成長することの価値を強調しました。

成功の秘訣としての姿勢とビジョン

さらに、「興味を持って挑戦する姿勢。指導者にはそういう姿勢、ビジョンが必要」と述べ、自らの研究人生を支えた原動力として、好奇心と挑戦心を挙げました。

「宝くじを引いたわけではない」

そして最後に、自身の受賞について、「ある日突然、宝くじを引いたのではない」と語り、長年の積み重ねと出会いの大切さを伝えました。

みなさまはこのメッセージを読んでどう思われますか？

北川さんの言葉は、科学者としての誠実な姿勢と、未来を担う子どもたちに希望と勇気を与えてくれています。どんな分野でも、日々の努力と経験が未来を切り開く力になるというメッセージは、子どもたちだけでなく、多くの人々に勇気を与えるものではないでしょうか？

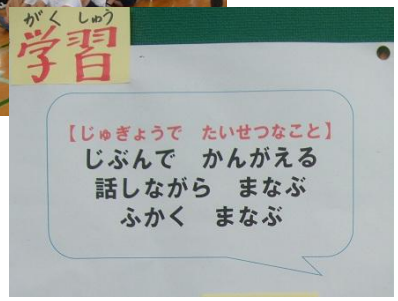
児童集会～図書委員会の発表～

9日（木）に児童集会があり、図書委員会よりしおりコンクールの受賞者紹介がありました。受賞した児童のみなさん、おめでとうございます。

この集会で、体育館の入場の仕方や人の話の聴き方、発表の仕方が以前に比べよくなってきたなあ、と感じました。

学習の基本は、人の話を最後までしっかり聴く→自ら考え、自分の意見や考えを持つ→自分の意見や考えを発表（発信）する・・・であることはこれまでにもお知らせした通りです。全校集会は教室よりも大人数ですので、当事者意識が薄れてしまいがちです。しかし、ここできちんと学習の基本を身につけることで、教室でより自分事として授業に参加できるのです。

そのような意味でも、集会はとても大切な活動なのです。



↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓

http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm